

2年越しの…

モーモーランドへ

年中の皆さんは、10月14日(木)にモーモーランドに遠足に出かけました。バスの中で、「どうして、モーモーランドなの?」と男児に聞かれました。「動物がたくさんいて、滑り台などもあって楽しく過ごせるからではないかな。」と答えると、「去年(年少の時)、雨が降って行けなかったから…」と、つぶやきました。子ども達の心の中には、去年、遠足に行けなかったことが残っていたのかもしれませんが、まさに、2年越しのモーモーランドへの遠足、今年は遠足には暑すぎるような上天気恵まれ、10時20分過ぎに筑女幼稚園を出発しました。



現地では、幼児を含む家族連れが10組程度と1園の保育園児の人数だったので、貸し切り状態でした。さっそく、広場に下りてローラー滑り台付近の木陰を陣取り、荷物を置いて活動を開始しました。クラスごとに分かれて、遊具、散歩、ローラー滑り台と食前の活動を満喫していました。



昼食の時間です。木陰にクラスごとにまとまってシートを敷き、皆、愛情たっぷりのお弁当を楽しそうに食べていました。



おやつも、しっかり食べていました。

昼食後は、また、クラスごとに分かれて、遊具・散歩・滑り台の中から食前に遊べなかった2つの事を時間一杯、とても楽しく遊んでいました。

ところで、帰りのバスの中では、「モーモーランドなのに、どうして、モーモー(牛)を見かけなかったのか」で盛り上がりました。「モーモーランドなのに牛がないのは、おかしいね」「牛を見たかったなあ」など、多くの声が飛び交っていました。

牧場を後にする間際に、先生が車窓からも見えにくい丘の反対側に牛がいるのを発見。子ども達は、「えっ、どこ…?」「見えなかったよう～」と…溜息交じりの「モ～モ～」連発。なるほど、牛に会えなくても「モ～モ～ランド」になることに納得。

ありがとう

ございました



～ 親子 竹馬づくり ～

年長では、10月16日(土)に「親子 竹馬づくり」を開催しました。お忙しい中にご参加いただいた保護者の皆様方、本当にありがとうございました。親子で作ったマイ竹馬、子ども達は愛着を持って扱い、竹馬乗りにチャレンジしてくれるものと思います。

遊戯室に到着された保護者の皆様方は、さっそく、大きなバッグに入った配付物の確認をされたり、作り方のプリントを読んで予習をされたり…と竹馬づくりに余念がない姿がありました。実際に作り始めると、なかなか手ごわいものがあり、動画で確認したり職員の手を借りながら制作が進んでいきました。出来上がった親子は、テラスや廊下、園庭で竹馬乗りにチャレンジしていました。



初めて竹馬に乗る子どもは、うまく乗ることができないかもしれません。最初は、人に支えられながら立つことがやっとなと思います。しかし、何度もチャレンジしていくうちに、バランスを取りながら手足をうまく動かさなければならぬ感覚を掴んでいき、バランス感覚が養われていきます。また、竹馬に乗っている時は、バランスを保たないといけないので、腹筋と背筋を無意識のうちに使い体幹も鍛えていることになるそうです。そして、何度もチャレンジして上手に乗れたという成功経験は、その後の子どもの自信に繋がっていきます。竹馬乗りを披露する日が楽しみですね。

ちなみに、**上手く乗るコツ**は、竹馬を**前に傾けて爪先立ち**(1)で乗ることだそうです。怖くて竹馬を自分の体の方に引き寄せようとしがちですが、前に傾けて乗ることができるようになると上手く乗れるようになるそうです。

(1) 本園で制作した竹馬は、爪先立ちになるように足場のかかと部分を上向きに装着されたと思います。